

National Clinical Database : Case Report Form 記入の手引き

泌尿器科<腎盂形成>

注意事項

このCase Report Form(以下、GRF)は、National Clinical Database(以下、NCD)への症例登録にあたっての補助資料です。各項目の定義については本CRFをご参照ください。

本CRFはあくまでも補助資料のため、最終的な症例登録はWeb経由で行ってください。

本CRFをNCDに送付いただいても、症例登録とみなすことはできません。あらかじめご了承ください。

本CRFは、以下のような場合にご活用ください。

例)本CRFの記入は担当医が行うが、Webへの入力は他の診療科スタッフに依頼する場合 など

記入に際してのルール

記入ルールは、以下の通りです。なお、○と□のアイコンについては、Web上も同じルールです。

○: 択一の項目です。該当するものを1つだけお選びください。

□: 複数選択の項目です。該当するもの全てをお選びください。

下線: テキスト文章の記入欄です。

項目名の網掛けが灰色部分: 必須項目です。

登録基準

【2020年症例登録開始日】

・2020年4月1日(水)～

【本CRF登録対象症例】

・泌尿器科入力項目【術式分岐】にて「腎盂形成術(ロボット手術以外の腎盂形成術は、2020年症例に限って「上記以外の術式」を選択してください)」を選択した手術症例が登録対象。

【ステータスについて】

・新規症例登録が完了しましたら、保存・ステータス変更を行ってください。

ステータスを「完了(承認済)」へ変更することで症例登録が完了いたします。

編集済 → 完了(未承認) → 完了(承認済)

お問い合わせ

ご不明な点、ご質問等がありましたら、NCDホームページお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

(URL <http://www.ncd.or.jp/contact>)

お問い合わせの前にFAQもご参照ください。(URL <http://www.ncd.or.jp/faq>)

※メールでの一元管理を行っていますので、お電話でのお問い合わせは承っておりません。何卒ご了承ください。

また、お問い合わせの内容によっては、回答までにお時間を要する場合があります。

National Clinical Database Case Report Form: 泌尿器科<腎盂形成>

患者情報			
院内管理コード	[]	各施設診療科で決めて入力する。半角英字と半角数字の両方を使用可能。	
患者生年月日	西暦[]年[]月[]日	患者性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
国籍・人種	<input type="radio"/> 日本人 <input type="radio"/> 白人 <input type="radio"/> 黒人 <input type="radio"/> 日本人を除くアジア人 <input type="radio"/> その他		
臨床的診断日	西暦[]年[]月[]日		
登録の拒否申請	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	登録拒否の受付日	【登録の拒否申請】が「あり」の場合に記入する。 西暦[]年[]月[]日
手術入院			
入院回数	[]回	自動表示	
手術回数	[]回	自動表示	
入院日	西暦[]年[]月[]日 <input type="radio"/> 外来手術		
救急搬送	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	救急車による搬送で入院したか、予定入院等による転院時に救急車で搬送されてきた場合も、搬送「あり」とする。また、救急車は公的機関のものだけでなく、医療機関自院用の救急車も含む。	
救急搬送時の郵便番号または患者居住地の郵便番号	郵便番号(7桁)〒[] <input type="radio"/> 特定不能または国外(所在地情報)[]		<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送が「なし」の場合: 患者居住地の郵便番号とする。 ・救急搬送が「あり」の場合: 救急車の要請があった搬送元の住所とする。 ・医療機関から救急搬送されてきた場合、その医療機関で加療されている場合: 当該医療機関の郵便番号を記入する。 ・「特定不能または国外」の場合: 所在地に関する情報を記入する。
入院時診断	(入院時診断をICD10コード(3桁まで)で記入する。) 診断1[] 診断2[] 診断3[] 診断4[] 診断5[] 診断6[] 診断7[] 診断8[]		入院した時の診断名を記入する。入院後に新たに疾患が発生した場合は、術後診断の欄に記入する。
診断名補足	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり		
診断名補足(詳細)	【診断補足】が「あり」の場合に記入する。 []		
水腎症家族歴	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明		水腎症の家族歴がある場合に「あり」とする。

手術入院・術前情報		
手術時年齢	[]	自動計算項目
緊急手術	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	手術をしなければ患者の生命予後や身体機能に著しい影響を及ぼすと判断され、手術実施決定後、即日(24時間以内)に行われた手術。医師の決定をもって手術実施の決定とする。
手術日	西暦[]年[]月[]日	
身長	[]cm	小数点(半角ピリオド)および半角英数字のみ、整数もしくは小数点第一位まで入力可能。
体重	[]kg	小数点(半角ピリオド)および半角英数字のみ、整数もしくは小数点第一位まで入力可能。
BMI	[]	自動計算項目
糖尿病	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(食事療法のみ) <input type="radio"/> あり(内服治療のみ) <input type="radio"/> あり(インシュリン治療) <input type="radio"/> あり(治療なし)	内服:経口血糖降下剤による加療が必要。 インシュリン:インシュリンの併用使用が必要。 内服治療とインシュリンを併用している場合はインシュリン治療を選択する
喫煙歴	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 術前1年以内の喫煙歴なし <input type="radio"/> 術前1年以内の喫煙歴あり	
喫煙歴 (プリंकマン・インデックス)	[]本/日×[]年 =プリंकマンインデックス[]	【喫煙歴】が有りの場合のみ記入する。
呼吸困難 (術前30日以内)	<input type="radio"/> 症状なし <input type="radio"/> 中等度労作時に呼吸困難が起こる <input type="radio"/> 安静時でも呼吸困難がある	呼吸困難、呼吸時の痛み、努力性呼吸の症状がある場合、術前に患者の呼吸状態が悪化した場合は、最悪時の状態を記載する。
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	慢性閉塞性肺疾患(肺気腫や慢性気管支炎など)により以下の1つ以上の所見があてはまる場合「あり」を入力する。 a. 慢性閉塞性肺疾患による機能低下(例:呼吸困難、ADLの低下) b. 慢性閉塞性肺疾患によって入院治療を要した c. 経口もしくは吸入による気管支拡張剤の投与を要した d. 予測1秒量が75%未満 気管支喘息のみの症例や急性もしくは慢性的の気道炎症により発症した気管支れん縮の症例は含まない、間質性の肺線維症やサルコイドーシスも含まない。
肺炎(術前30日以内) (胸部X-P、CTで肺炎像を認める、または喀痰細菌培養で陽性の場合)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術前30日以内に明らか肺炎の兆候を有する場合、肺炎については以下の2つの基準のうち最低1つを満たすこととする。 基準1:胸部理学的所見にてラ音または打診上の濁音域を有し、かつ以下のうちいずれか1つを有する。 a. 新たに出現した膿性痰または痰の性状の変化を認める。 b. 血液培養にて微生物が確認される。 c. 気管支吸引物、気管支ブラシまたは生検から病原菌が確認される。 基準2:胸部画像検査にて新たに出現したまたは進行性の浸潤影、肺野陰影、空洞形成、胸水貯留のいずれかを認め、かつ以下のうちいずれか1つを有する。 a. 新たに出現した膿性痰または痰の性状の変化を認める。 b. 血液培養にて微生物が確認される。 c. 気管支吸引物、気管支ブラシまたは生検から病原菌が確認される。 d. 呼吸器分泌物からウイルスが分離されるかウイルス抗原が確認される。 e. 病原体に対して診断的価値を有する単回のIgM型抗体価の上昇またはベア血清によりIgG型抗体価が4倍以上の上昇を認める。 f. 病理組織学的に肺炎が確認される。
高血圧 (術前30日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(未治療) <input type="radio"/> あり(内服治療)	手術を考慮する時点(ただし、術前30日以内とする)で、収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上の高血圧が継続的に認められる患者、または降圧薬(利尿剤、βブロッカー、ACE阻害剤、カルシウム拮抗薬など)で治療を行っている患者は、「あり」を入力する。
うっ血性心不全 (術前30日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術前30日以内にうっ血性心不全と診断された、または慢性心不全患者で術前30日以内にうっ血性心不全症状が増悪した患者の場合、症状・所見:呼吸困難や易疲労による日常生活の制限、安静臥床時の呼吸困難、夜間発作性呼吸困難、頸静脈圧上昇、労作時呼吸音、心肥大、肺うっ血など。
心筋梗塞の既往 (術前6か月以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	治療記録上、術前6か月以内に梗塞の既往がある患者。
狭心症 (術前30日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	抗狭心症薬を内服している患者の場合、術前1か月以内であれば時期を問わず狭心症症状を認めたら、「あり」を入力する。
経皮的冠動脈インターベンション(PCI)の既往	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	PCIとは、バルーン拡張術およびステント留置をいい、弁形成術は除く。

心臓外科手術の既往(ペースメーカー挿入などを除く)	○なし ○あり	主要心臓外科手術(off-pumpか人工心臓かは問わない)の既往がある患者は、「あり」を入力する。主要心臓外科手術とは、冠動脈バイパス術および弁置換または弁形成術、心房・心室中隔欠損修復術、大血管修復術、心移植術、左室瘤切除術、左心補助装置(LVAD)挿入術などをいう。ペースメーカー挿入や植え込み型自動除細動器(AICD)挿入は除く。	
動脈性閉塞性疾患(PVD)による症状に関連した手術の既往	○なし ○あり	動脈硬化性末梢動脈疾患(PVD)に対し血管形成術(ステント治療を含む)または血行再建術(大動脈-大腿動脈(A-F)バイパス術や大腿動脈-大腿動脈(F-F)バイパス術、大腿動脈-膝窩動脈(F-P)バイパス術など)を行った患者、またはPVDに対し切断術(足指切断、足根中足切断、膝上または膝下切断)を行った患者は、「あり」を入力する。ただし、外傷や腹部大動脈切除術による切断術は除く。	
動脈性閉塞性疾患(PVD)による症状	○なし ○あり	安静時痛または壊疽を認める患者は、「あり」を入力する。安静時痛とは、動脈閉塞性疾患に起因する虚血性疼痛の中で重篤なものをいい、安静時において出現、拳上により増悪し、弱まることがないほど強く、しばしば睡眠を妨げるほどの疼痛である。壊疽とは、重篤かつ長期に及ぶ虚血による四肢組織の腐敗または壊死を示す著しい皮膚の変色を認める状態をいう。虚血性潰瘍や末梢血管病変による組織欠損は含むが、フルニエ壊疽は除く。	
脳血管障害の既往	○なし ○あり	術前30日以内に、「TIA(24時間以内に消失した中枢神経障害の既往)」「RIND(72時間以内に消失した中枢神経障害の既往)」「CVA(中枢神経障害が72時間以上持続したもの)」「COMA(24時間以上継続した昏睡)」あるいは詳細不明だが何らかの脳血管障害をきたしたものの、いずれかを認めた場合、「あり」を入力する。	
術前脳障害の発生時期	【脳血管障害の既往】が「あり」の場合に記入する ○14日以前 ○15日以降		
術前48時間以内のせん妄・混乱状態	○なし ○あり	せん妄・混乱状態とは、急に時間や場所が急にわからなくなり、妄想的で混乱している状態を指す。この時、混乱しながらも口頭または軽度の触覚刺激に応答は可能である。術前48時間以内に、このような症状を認めた場合は「あり」を選択する。この状態が、長期間持続している精神疾患に起因する場合(慢性精神病(統合失調症など)または慢性的な認知症(多発脳梗塞による認知症やアルツハイマー型認知症など))は該当しないため「なし」を選択する。 例: 膀胱全摘除術の予定で入院した患者が、手術前日の夜に発熱し脱水となっていた。翌朝、つじつまの合わないことを言い出し、入院した事も分からなくなった。質問には答えるが的を得ていない。入院前まではこの様な事は無かった、と家族は話す。この様な場合、せん妄・混乱状態は「あり」と判断される。	
長期ステロイド投与	○なし ○あり(術前30日以内に中止) ○あり	術前30日以内に慢性的な内科的疾患(慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、リウマチ性疾患、炎症性腸疾患など)に対して経口または静脈的にコルチコステロイド(プレドニン、デカドロンなど)の定期投与を必要とした患者は「あり」と入力する。皮膚への局所ステロイド塗布や吸入・経直腸的ステロイド投与は含まない。術前30日以内に10日以下の短期間のステロイド投与を受けたのみの患者は含まない。	
出血危険性因子	○なし(抗凝固療法なし) ○なし(抗凝固療法あり) ○あり(抗凝固療法なし) ○あり(抗凝固療法あり)	【なし(抗凝固療法なし)】: 術直前に術中・術後の大量出血をまねくような出血素因が存在せず、術前に抗凝固剤・抗血小板剤が投与されていない患者 【なし(抗凝固療法あり)】: 抗凝固剤(ヘパリン含む)・抗血小板剤を術前休業期間の基準通りに中止して手術を行う患者 【あり(抗凝固療法なし)】: 血液凝固因子が欠乏した状態(ビタミンK欠乏、血友病、血小板減少症など)で手術をおこなう患者 【あり(抗凝固療法あり)】: 抗凝固剤・抗血小板剤を術前に中止せずに手術をおこなう患者	
術前輸血(術前72時間以内)	○なし ○あり	術前72時間以内に輸血を受けた際は「あり」とする。	
術前の心奇形・心疾患の合併	○なし ○あり		
心奇形・心疾患の種類	<input type="checkbox"/> ASD(Atrial septal defect: 心房中隔欠損症) <input type="checkbox"/> VSD(Ventricular septal defect: 心室中隔欠損症) <input type="checkbox"/> PDA(Patent ductus arteriosus: 動脈管開存症) <input type="checkbox"/> TOF(Teratotomy of Fallot: ファロー四徴症) <input type="checkbox"/> DORV(Double-outlet right ventricle: 両大血管右室起始症) <input type="checkbox"/> TGA(Transposition of the great arteries: 大血管転位症) <input type="checkbox"/> CAVV(Common atrioventricular valve: 共通房室弁口) <input type="checkbox"/> PA(Pulmonary atresia: 肺動脈閉鎖) <input type="checkbox"/> SV(Single ventricle: 単心室症) <input type="checkbox"/> TAPVR(Total anomalous pulmonary venous return: 総肺静脈還流異常症) <input type="checkbox"/> HLHS(Hypoplastic left heart syndrome: 左心低形成症候群) <input type="checkbox"/> asplenia or polysplenia: 無脾症または多脾症 <input type="checkbox"/> CoA(Coarctation of aorta: 大動脈縮窄症) <input type="checkbox"/> 大動脈離断 <input type="checkbox"/> 拡張型心筋症 <input type="checkbox"/> その他 []	【術前の心奇形・心疾患の合併】が「あり」の場合に入力。 ASD (Atrial septal defect: 心房中隔欠損症) VSD (Ventricular septal defect: 心室中隔欠損症) PDA (Patent ductus arteriosus: 動脈管開存症) TOF (Teratotomy of Fallot: ファロー四徴症) DORV (Double-outlet right ventricle: 両大血管右室起始症)、TGA (Transposition of the great arteries: 大血管転位症) CAVV (Common atrioventricular valve: 共通房室弁口) PA (Pulmonary atresia: 肺動脈閉鎖) SV (Single ventricle: 単心室症) TAPVR (Total anomalous pulmonary venous return: 総肺静脈還流異常症) HLHS (Hypoplastic left heart syndrome: 左心低形成症候群) Asplenia or polysplenia: 無脾症または多脾症 CoA (Coarctation of aorta: 大動脈縮窄症)	
術前の肺/気管支の形態異常	○なし ○あり	喘息	○なし ○あり
側弯症	○なし ○あり	発達障害	○なし ○あり
腹腔内腹部手術の既往歴	○なし ○あり <input type="checkbox"/> 腹腔鏡 <input type="checkbox"/> 開腹手術		

術前ヘモグロビン値	<input type="radio"/> 基準値(参考値) 男性:13.5-17.0g/dl, 女性:11.5-15.0g/dl <input type="radio"/> 異常[]g/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	1-30, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ。
術前アルブミン値	<input type="radio"/> 基準値(参考値) 4.0-5.0 g/dl <input type="radio"/> 異常[]g/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-10.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ。
術前クレアチニン値	<input type="radio"/> []mg/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-20.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ。
水腎症の診断方法	<input type="checkbox"/> US <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> 逆行性腎盂造影 <input type="checkbox"/> その他 []	水腎症と診断した主な検査を選択する。複数選択可能。
水腎症の患側	<input type="radio"/> 右 <input type="radio"/> 左 <input type="radio"/> 両側 <input type="radio"/> 手術側が右 <input type="radio"/> 手術側が左	片側症例の場合には、手術を行った患側を選択する。 両側症例の場合には、「両側」をチェックしたのち、手術を行った側を選択する。
水腎症の発見契機	<input type="checkbox"/> 胎児水腎症 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 体重増加不良 <input type="checkbox"/> 腹痛・腰背部痛 <input type="checkbox"/> 肉眼的血尿 <input type="checkbox"/> 尿路感染症 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 他疾患の精査中 <input type="checkbox"/> 健診 <input type="checkbox"/> その他の症状 [] <input type="checkbox"/> 不明	水腎症の発見契機となった症状、イベントを選択する。複数選択可能。
水腎症 grade	<input type="radio"/> grade 1 <input type="radio"/> grade 2 <input type="radio"/> grade 3 <input type="radio"/> grade 4 <input type="radio"/> 間欠的水腎症	水腎症の程度をSFU分類に従って選択する。水腎症の程度が時期によって変動しgradeを判定できない場合には、間欠的水腎症を選択する。
腎盂前後径	[]mm <input type="radio"/> 不明	水腎症を呈している腎盂の前後径を入力する。
合併する尿路先天異常	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 重複腎盂尿管 <input type="checkbox"/> 膀胱尿管逆流 <input type="checkbox"/> 多嚢胞性異形成腎 <input type="checkbox"/> 尿管瘤 <input type="checkbox"/> 馬蹄腎 <input type="checkbox"/> 神経因性膀胱 <input type="checkbox"/> 尿管膀胱移行部通過障害 <input type="checkbox"/> その他 []	水腎症に合併していた尿路先天異常がある場合、該当する疾患を選択する。複数選択可能。
尿路結石症の合併	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	水腎症の患側の腎・尿管に結石を認める場合に選択する。
尿路感染症の合併 (術前 90日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	術前90日以内に水腎症の患側の腎盂腎炎を起こしていた場合、「あり」を選択する。
術前腎瘻	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	水腎症の患側に腎瘻が留置されていた場合、「あり」を選択する。
術前尿管ステント留置	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	水腎症の患側に尿管ステントが留置されていた場合、「あり」を選択する。
腎シンチグラフィによる分腎機能	右 []% 左 []% <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 未施行	術前に施行した腎シンチグラフィにおける左右の分腎機能比を入力する。術前の検査が行われていても値が不明な場合には、「不明」を選択し、検査が施行されていない場合には「未施行」を選択する。

利尿レノグラフィにおける T1/2	<input type="checkbox"/> 右 <input type="radio"/> 15分未満 <input type="radio"/> 15 - 20分未満 <input type="radio"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> 左 <input type="radio"/> 15分未満 <input type="radio"/> 15 - 20分未満 <input type="radio"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> 未施行	術前に施行した利尿レノグラフィ(99mTc-DTPA、あるいは99mTc-MAG3)において、左右それぞれのT1/2の当てはまるものを選択する。片腎症例では、左右どちらか一方でよい。検査が行われていない場合、「未施行」を選択する。
利尿レノグラフィにおけるラシックス反応性	<input type="checkbox"/> 右 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 左 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 未施行	術前に施行した利尿レノグラフィ(99mTc-DTPA、あるいは99mTc-MAG3)において、左右それぞれのラシックス反応性があるかないかを選択する。片腎症例では、左右どちらか一方でよい。検査が行われていない場合、あるいは腎シンチグラフィが行われていても利尿剤が投与されていない場合には、「未施行」を選択する。
術前のVCUGの施行	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	水腎症の手術前にVCUGを行った場合に「あり」を選択する。
術前の予防的抗菌薬の投薬(術前30日以内)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	水腎症に対して予防的抗菌薬の投薬が術前30日以内に行われていた場合には、「あり」を選択する。
前治療(水腎症)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 開腹手術 <input type="checkbox"/> 腹腔鏡手術 <input type="checkbox"/> ロボット手術 <input type="checkbox"/> endopyelotomy <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="radio"/> 不明	今回の水腎症手術より以前に、この水腎症に対して手術治療が行われていた場合には、「あり」を選択し、その術式を選択する(複数選択可)。
手術情報・術中情報		
術式1	コード	術式
	術式1	<input type="checkbox"/> 内視鏡手術 <input type="checkbox"/> 外傷手術
	術者名	術者 _____
	助手1	助手 _____
	助手2	助手 _____
	助手3	助手 _____
術式2	コード	術式
	術式2	<input type="checkbox"/> 内視鏡手術 <input type="checkbox"/> 外傷手術
	術者名(術式1の術者チームと異なる場合に記入する。)	
	術者名	術者 _____
	助手1	助手 _____
	助手2	助手 _____
術式3 (※術式4以降は別紙に記入する。)	コード	術式
	術式3	<input type="checkbox"/> 内視鏡手術 <input type="checkbox"/> 外傷手術
	術者名(術式1の術者チームと異なる場合に記入する。)	
	術者名	術者 _____
	助手1	助手 _____
	助手2	助手 _____
術式名補足	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	
術式名補足(詳細)		

術式分岐	<input type="radio"/> 前立腺全摘術 <input type="radio"/> 腎皮質由来腫瘍(腎癌など)に対する手術(腎摘出術・部分切除など) <input type="radio"/> 根治的膀胱全摘除術 <input checked="" type="radio"/> 腎盂形成術(ロボット手術以外の腎盂形成術は、2020年症例に限って「上記以外の術式」を選択してください) <input type="radio"/> 上記以外の術式	本項目は施設及び術者レベルでの症例数把握の為に使用します。
同時に行われた領域の異なる手術術式(※術式4以降は別紙に記入する。)	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり (「あり」の場合に記入する。) コード 術式1 _____ 術式2 _____ 術式3 _____	同時に行われた領域の異なる手術が行われた場合に記入する。この場合は、別の症例レコードとして、異なる領域の術者を登録する。
麻酔科医の関与	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	麻酔科医による麻酔が行われたか。 麻酔科医とは、麻酔科に専従している医師(その施設で麻酔担当医として認定されている方)であり、専門医資格の有無は問わない。
麻酔時間	[]時間[]分	
手術時間	[]時間[]分	
開始時に企図した手術法	<input type="radio"/> 開腹手術 <input type="radio"/> 腹腔鏡下手術 <input type="radio"/> 単孔式手術(単孔+1を含む) <input type="radio"/> ロボット支援手術 <input type="radio"/> Endopyelotomy <input type="radio"/> 腹腔鏡補助下手術 <input type="radio"/> その他[]	途中で術式を変更した場合は、開始時の術式を選択する。
米国麻酔学会術前状態分類(ASA physical status classification)	<input type="radio"/> ASA1(手術となる原因以外は健康な患者) <input type="radio"/> ASA2(軽度の全身疾患をもつ患者) <input type="radio"/> ASA3(重度の全身疾患をもつ患者) <input type="radio"/> ASA4(生命を脅かすような重度の全身疾患をもつ患者) <input type="radio"/> ASA5(手術なしでは生存不可能な瀕死状態の患者) <input type="radio"/> ASA6(脳死患者)	麻酔記録を参考に記載する。 ※分類に関する詳細は別紙の参考資料「NCD消化器外科専門医(肝胆脾外科高度技能専門医含む)_補足資料」を参照
体位	<input type="radio"/> 仰臥位 <input type="radio"/> 側臥位 <input type="radio"/> 半側臥位 <input type="radio"/> その他	
アプローチ	<input type="radio"/> 経腹膜 <input type="radio"/> 後腹膜	【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力
ロボット手術使用機器	<input type="radio"/> ダビンチS <input type="radio"/> ダビンチSi <input type="radio"/> ダビンチX <input type="radio"/> ダビンチXi <input type="radio"/> その他[]	【開始時に企図した手術法】でロボット支援手術を選択した場合にのみ入力
気腹時間	[]時間[]分	【開始時に企図した手術法】で腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術を選択した場合にのみ入力 気腹開始から終了までの時間
コンソール時間	[]時間[]分	【開始時に企図した手術法】でロボット支援手術を選択した場合にのみ入力 ロボット開始から終了までの時間
腎盂尿管縫合に要した時間	[]時間[]分 <input type="radio"/> 不明	【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力 腎盂尿管の縫合開始から終了までの時間
術中出血量	[]ml <input type="radio"/> 少量	小数点以下は四捨五入する
周術期輸血の有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	
コンバージョンの有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 開腹へ移行 <input type="radio"/> 腹腔鏡へ移行 <input type="radio"/> その他	

術中発生事象・合併症	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 大血管損傷 <input type="checkbox"/> 消化管損傷 <input type="checkbox"/> 肝損傷 <input type="checkbox"/> 脾損傷 <input type="checkbox"/> 膵損傷 <input type="checkbox"/> 胸膜損傷 <input type="checkbox"/> その他臓器の損傷[] <input type="checkbox"/> 低体温症 <input type="checkbox"/> コンパートメント症候群 <input type="checkbox"/> 心肺蘇生を要する心拍停止 <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 予定外の気管内挿管	<p>合併症のグレード、損傷の程度は問わない</p> <p>心肺蘇生を要する心拍停止は、基本的または高次的な救命措置の開始を必要とする意識消失を伴う心拍の欠損または無秩序な不整脈の出現。埋め込み式の除細動器の作動によっても意識が回復しない状態。</p> <p>心筋梗塞は心電図上でのQ波出現により示される手術中に起こった新たな心筋の梗塞。</p> <p>予定外の気管内挿管は、重度の呼吸窮迫や低酸素症、心肥大、呼吸性アシドーシスによって示される呼吸不全または心不全の発症により、予定外に気管内挿管および機械的または補助的な換気が必要となった状態。</p>	
手術術式	<input type="radio"/> dismemberd <input type="radio"/> non-dismemberd <input type="radio"/> 不明	<p>【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力</p> <p>腎盂を離断した場合には dismembered を、離断しない場合には、non-dismembered を選択する。</p>	
余剰腎盂の切除	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	<p>【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力</p> <p>余剰の腎盂を切除した場合には、「あり」を選択する。</p>	
腎盂尿管縫合に使用した糸の種類	<input type="radio"/> モノフィラメント(monofilament) <input type="radio"/> 編み糸(braided) <input type="radio"/> 返し付き糸(barbed) <input type="radio"/> 不明	<p>【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力</p> <p>腎盂尿管縫合の際に使用した糸の種類を選択する。</p>	
腎盂尿管縫合に使用した糸の太さ	<input type="radio"/> 3-0 <input type="radio"/> 4-0 <input type="radio"/> 5-0 <input type="radio"/> 6-0 <input type="radio"/> 7-0 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 不明	<p>【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力</p> <p>腎盂尿管縫合の際に使用した糸の太さを選択する。</p>	
腎盂尿管縫合の方法	<input type="radio"/> 連続縫合 <input type="radio"/> 結節縫合 <input type="radio"/> 連続+結節縫合 <input type="radio"/> 不明	<p>【開始時に企図した手術法】で開腹手術、腹腔鏡下手術、単孔式手術、ロボット支援手術、腹腔鏡補助下手術 を選択した場合にのみ入力</p> <p>腎盂尿管縫合の際に行った縫合方法を選択する。</p>	
尿管ステント留置の時期と方法	<input type="radio"/> 留置しない <input type="radio"/> 術前 <input type="radio"/> 術中(順行性) <input type="radio"/> 術中(逆行性) <input type="radio"/> 不明	<p>尿管ステントを留置しない場合には、「留置しない」を、術前から留置したままであれば、「術前」を選択する。</p>	
尿管ステントの太さ	[]Fr. <input type="radio"/> 留置しない <input type="radio"/> 不明	<p>留置した尿管ステントの太さを入力する。</p> <p>0.1-10.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ</p>	
尿管ステントの長さ	[]cm <input type="radio"/> 留置しない <input type="radio"/> 不明	<p>留置した尿管ステントの長さを入力する。</p> <p>1-30, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ</p>	
腎瘻の留置	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明	腎盂瘻の留置	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明
ドレーン留置	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明		
通過障害の原因	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 交差血管(crossing vessel) <input type="checkbox"/> 尿管ポリープ <input type="checkbox"/> 高位付着(high insertion) <input type="checkbox"/> 内因性 <input type="checkbox"/> その他 []	<p>水腎症をきたした原因となる病変が判明した場合、「あり」を選択し、その内訳を選択する(複数選択可)。</p>	
術中に行った結石治療	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 完全除去 <input type="radio"/> 残石あり <input type="radio"/> 不明	術後の結石治療の有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> 不明
手術情報・術後情報			
術後診断 (※診断5以降は別紙に記入する。)	<p>(入院時診断と異なる場合に、ICD10コード(3桁まで)を記入する。)</p> <p>診断1 _____ 診断2 _____ 診断3 _____ 診断4 _____</p>		

術後30日状態	○生存 ○死亡	
術後30日状態・死亡日	西暦[]年[]月[]日	【術後30日状態】が「死亡」の場合入力
術後30日以内の再入院	○なし ○あり	
術後30日以内の再手術	○なし ○あり <input type="checkbox"/> 尿管ステント留置 <input type="checkbox"/> 腎瘻造設 <input type="checkbox"/> 止血術 <input type="checkbox"/> 感染ドレナージ <input type="checkbox"/> その他 []	「あり」の場合、再手術詳細を選択する(複数選択可)
術後30日以内の尿管ステントトラブル	○なし ○あり <input type="checkbox"/> 位置異常 <input type="checkbox"/> 閉塞 <input type="checkbox"/> その他 []	「あり」の場合、トラブル詳細を選択する(複数選択可)
術後30日以内の皮切創浅部の外科手術部位感染 (SSI)	○なし ○あり	術後30日以内の創浅部の感染の有無を記載する。以下のものを認めれば「あり」とする。 1. 創浅部からの排膿(感染確認の有無によらず)。 2. 創浅部から採取した液体または組織の培養で細菌などを検出。 3. 創部の疼痛・圧痛、腫脹、発赤、熱感がある。 4. 培養陰性でも医師の判断により切開術を施行した。 5. 医師によりSSIと診断された場合。ただし、縫合糸(またはステイプラー)周囲のわずかな炎症や浸出液、感染熱傷創は除外すること。
術後30日以内の皮切創深部(筋膜、筋層)の外科手術部位感染 (SSI)	○なし ○あり	術後30日以内の筋膜や筋層におよぶ深部の感染の有無を記載する。以下のものを認めれば「あり」とする。 1. 創深部からの排膿(ただし、手術操作が加わった臓器または腹腔・胸腔といった体腔からのものは除く)。 2. 自然に創が深部まで離開したもの、または培養陰性でも発熱(38℃以上)、創部の疼痛・圧痛を認め医師により深部まで切開されたもの。 3. 明かな膿瘍形成または培養検査、再手術時の所見、組織検査、画像検査などから創深部感染と考えられるもの。 4. 医師により深部SSIと診断された場合。浅部から深部にかけて感染を認める場合、深部SSIとする。
術後30日以内の臓器、体腔の外科手術部位感染 (SSI)	○なし ○あり(縫合不全なし) ○あり(縫合不全あり)	術後30日以内の手術に関連した臓器、体腔の感染の有無を記載する。以下のものを認めれば「あり」とする。 1. 臓器あるいは腹腔・胸腔といった体腔へ留置したドレーンからの排膿。 2. 臓器もしくは体腔から採取した液体または組織の培養で細菌などを検出。 3. 明かな膿瘍形成または培養検査、再手術時の所見、組織検査、画像検査などから創深部感染と考えられるもの。 4. 医師により臓器または体腔内SSIと診断された場合。
術後30日以内の筋膜の離開を伴う創離開(部分的にでも)	○なし ○あり	筋膜の離開を伴う創の離開(部分的にでも)の有無を記載する。
術後30日以内の肺炎(胸部X-P、CTで肺炎像を認める。または喀痰細菌培養で陽性的場合)	○なし ○あり	術後30日以内の冷汗、発熱、胸痛、咳、膿性血性痰で発症し、細菌、ウイルスや化学刺激物に起因する肺の炎症と定義(ただし、手術前に存在しないもの)。肺炎は、以下の2つの基準のうちの1つを満たさなければならない。 基準1:胸部診察で肺雑音または鈍化や次のうちどれかを示す: a 新しく始まった膿性痰または痰の性状変化。 b 血液培養で微生物の検出。 c 経気管支的吸引、気管支のブラッシングまたは生検によって得られる標本からの微生物の分離。 または基準2:胸部XPにて、新しく進行する浸潤像、空洞または胸水や以下のどれでも: a 新しく始まった膿性痰または痰の性状変化。 b 血液培養から分離された微生物。 c 経気管支的吸引、気管支のブラッシングまたは生検によって得られる標本からの微生物の分離。 d ウイルスの隔離または呼吸分泌物の中のウイルス抗原の検出。 e 抗体価(IgM)または病原のための対血清サンプル(IgG)の4倍の増加。 f 肺炎の組織病理所見。
術後30日以内の予定外の気管内挿管(再挿管あるいは新たに挿管した場合)	○なし ○あり	術後30日以内に呼吸不全または心不全などにより、術後抜管された後に予定外に再挿管した場合、または術中挿管を必要としない手術の後に挿管を必要とした場合。
術後30日以内の肺塞栓症(肺血流シンチグラム、造影CT、血管造影で肺塞栓症と診断されたもの)	○なし ○あり	術後30日以内に、肺血流シンチグラムで肺塞栓症の可能性の高い場合、または造影CT、肺動脈造影、血管造影下CTで肺塞栓症と診断される場合。
術後30日以内の人工呼吸器管理(累積48時間以上ベンチレーター管理を要した場合)	○なし ○あり	術後30日以内に累積で48時間以上、ベンチレーターによる補助呼吸を要した場合
術後30日以内の尿路感染症(発熱(>38℃)、頻尿、排尿痛もしくは膀胱部圧痛のほかに、尿培養で陽性的場合)	○なし ○あり	術後30日以内に、次の2つの基準のうち1つを満たす場合。 1. 次のうちの1つ:発熱(>38℃)、頻尿、排尿痛または膀胱部の圧痛のほかに、尿培養で2種以下の細菌が10 ⁵ cfu/ml以上認められる。 2. 次のうち2つ:発熱(>38℃)、頻尿、排尿痛または膀胱部の圧痛のほかに次のうちの1つの所見、 1) 尿中白血球エステラーゼまたは亜硝酸塩の検出。 2) 膿尿(10個以上の膿球/mm ³ または3個以上の膿球/400倍視野での原尿)。 3) 原尿のグラム染色で病原菌を鏡検下に検出。 4) 正しく採取された検体で2回の培養で同一菌が10 ² cfu/ml以上検出。 5) 適切な抗菌薬投与後10 ⁵ cfu/ml以下の単一菌種を検出した場合。

術後30日以内の中枢神経障害	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(脳出血のみ) <input type="radio"/> あり(脳梗塞のみ) <input type="radio"/> あり(脳出血と脳梗塞)	術後30日以内に脳梗塞, 血栓, 出血で運動, 感覚障害が起きたり認識障害を持続する場合。(例えば片麻痺, 半身不全麻痺, 失語, 感覚欠損, 記憶障害。)
術後30日以内の蘇生を要した心停止	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内に脈がなかったり, 不整脈のため意識がなく心蘇生術が必要であったりした場合。自動除細動器埋め込みで意識消失のない場合は除く。
術後30日以内の心筋梗塞	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内に心電図で新たにQ波出現の見られる新規の心筋梗塞。
術後輸血	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 自己血輸血あり [単位] <input type="checkbox"/> 他家血輸血あり [単位]	手術室から帰室後72時間以内に, 濃厚赤血球や全血輸血(自己血を含む)を1単位以上行った場合「あり」とする。術前, 術中に保存した自己血, セルセーバー血は, すべて自己血としてカウントする。自己血, セルセーバー血は200mlを1単位相当とする。血小板製剤や新鮮凍結血漿など, 赤血球製剤, 全血製剤以外はカウントしない。該当する項目をすべて選択してください。
術後30日以内の深部静脈血栓症	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内に発症した新しい深部静脈血栓, 塞栓で炎症を伴うもの。診断はドップラー, 静脈造影, CTで行う。
術後30日以内の腎機能障害	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(急性腎障害)	★ 急性腎障害ガイドライン2016 に準拠し, KDIGO診断基準(① Δ sCr \geq 0.3mg/dL(48時間以内), ② sCrの基礎値から1.5倍上昇(7日以内), ③ 尿量0.5mL/kg/h以下が6時間以上持続, のうち1つを満たすもの)を急性腎障害と定義する。
術後30日以内の術後敗血症	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 敗血症(従来の重症敗血症に近似する) <input type="radio"/> 敗血症性ショック	敗血症の診断: 敗血症(≠重症敗血症 [Surviving Sepsis Campaign Guidelines 2012]) 定義: 感染に対する制御不能な宿主反応に起因する生命を脅かす臓器障害 診断基準: 感染が疑われるか明らか感染があり, SOFA 総スコアが2点以上の急上昇がある(臓器障害が存在する) 敗血症性ショック 定義: 実質的に死亡率を増加させる可能性のある循環と細胞/代謝の異常を有する敗血症のサブセット 診断基準: 適切な輸液負荷を行ったにもかかわらず平均血圧65mmHg 以上を維持するための循環作動薬を必要とし,かつ, 血清乳酸値が $>$ 2mmol/L (18mg/dL) SOFA(Sequential Organ Failure Assessment)スコア(出典:Singer M, et al.JAMA. 2016; 315:801-10.) 6臓器の障害の程度を, それぞれ0~4 までの5段階で評価する。臓器ごとの点数と, これらの合計点で重症度を表す。
創部ヘルニア	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内に発症した創部ヘルニア
イレウス	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内に発症したイレウス
手術部位の後出血	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内の出血
術後尿ろう	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内の尿漏, ドレーンからの尿流出。
術後透析	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	術後30日以内の透析。
術後30日以内の下肢コンパートメント症候群の有無と程度	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり(保存的加療) <input type="radio"/> あり(外科的処置) <input type="radio"/> 不明	
術後30日以内の術後せん妄	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	【概念】術後せん妄を拾い上げる 【定義】患者が一回でも急性混乱(acute confusion)を発症した場合にせん妄ありと判断する。急な精神状態の変化があれば, せん妄を発症したと記録される。次の用語が記載されている場合は「せん妄あり」と判断する精神状態の変化、混乱(confusion)、見当識障害、興奮、せん妄、不注意な行為、不注意、幻覚、好戦的(例えば、ラインやチューブを引き抜くような場合)。 【基準】退院前の入院期間中に術後せん妄を発症したことを示す診療録の記載があれば、「はい」を選択する。 解説: 急性錯乱状態が発症した場合は、原因不明であっても、せん妄を選択する。 術前から混乱状態(認知症を含む)がある患者が、術後に混乱状態が改善・悪化を繰り返すあるいは、術前と異なる場合は、「はい」を選択する。 麻酔覚醒までの期間(術後2時間以内)は、術後せん妄とはしない。 混乱の原因が精神状態の変化ではなく、明らかな原因がある場合(例えば、薬剤投与量の過剰など)は「いいえ」を選ぶ。 注意: 医療従事者(医師や、看護師、研修医、理学療法士)によってせん妄を示す言葉が記載されていれば、せん妄を選択してよい。
その他術後30日以内の合併症	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 無気肺 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 腹腔内出血 <input type="checkbox"/> 消化管出血 <input type="checkbox"/> 骨盤内出血 <input type="checkbox"/> 腹膜炎 <input type="checkbox"/> 機能的(麻痺性)イレウス <input type="checkbox"/> 機械的(閉塞性)イレウス <input type="checkbox"/> 腹腔内膿瘍 <input type="checkbox"/> 骨盤内膿瘍 <input type="checkbox"/> その他[]	

30日以内に発生した最も重篤な合併症のグレード (JCOG Clavien-Dindo分類 v2.0)	<input type="radio"/> 合併症なし <input type="radio"/> あり(Grade I) <input type="radio"/> あり(Grade II) <input type="radio"/> あり(Grade IIIa) <input type="radio"/> あり(Grade IIIb) <input type="radio"/> あり(Grade IVa) <input type="radio"/> あり(Grade IVb) <input type="radio"/> あり(Grade V: 死亡) <input type="radio"/> 不明	JCOG術後合併症規程:Clavien-Dindo分類v2.0 (2013年4月11日承認)に従う Grade I: 正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVRによる治療を要さないもの。ただし、制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含まれない(これらが必要と判断されたり行われたりしていてもGrade Iとする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放はGrade Iとする。 Grade II: 制吐薬、解熱薬、鎮痛薬、利尿薬以外の薬物療法を要する。輸血および中心静脈栄養を要する場合を含む。 Grade IIIa: 外科的治療、内視鏡的治療、IVRによる治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。 Grade IIIb: 外科的治療、内視鏡的治療、IVRによる治療を要する(全身麻酔下での治療)。 Grade IVa: 準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、単一の臓器不全(透析を含む)。 Grade IVb: 準集中治療室/ICU管理を要する、生命を脅かす合併症(中枢神経系の合併症を含む)、かつ、多臓器不全。 Grade V: 患者の死亡
入院中の最大血清クレアチニン値	<input type="radio"/> []mg/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-20.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ
手術日から食事(流動食以上)開始までの日数(開始日を含む)	[]日	食事とは、飲水ではなく流動食以上の食事を指す
尿管ステント除去日	西暦[]年[]月[]日 (留置期間:[]日間) <input type="radio"/> 留置していない <input type="radio"/> 不明	尿管ステントを除去した日を入力する。
退院時情報		
退院日	【入院日】で「日付」を入力した場合に記入する。 西暦[]年[]月[]日 <input type="radio"/> 術後90日以上長期入院	退院時転帰 <input type="radio"/> 生存 <input type="radio"/> 死亡
退院時転帰・死亡日	【退院時転帰】が「死亡」の場合に記入する。 西暦[]年[]月[]日	死因 【退院時転帰】が「死亡」の場合に記入する。 <input type="radio"/> 手術関連死亡 <input type="radio"/> 他病死[]
退院時血清クレアチニン	<input type="radio"/> []mg/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-20.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ

National Clinical Database : Case Report Form 記入の手引き 泌尿器科＜腎盂形成 追跡調査(フォローアップ)＞

注意事項

このCase Report Form(以下、CRF)は、National Clinical Database(以下、NCD)への症例登録にあたっての補助資料です。各項目の定義については本CRFをご参照ください。

本CRFはあくまでも補助資料のため、最終的な症例登録はWeb経由で行ってください。

本CRFをNCDに送付いただいても、症例登録とみなすことはできません。あらかじめご了承ください。

本CRFは、以下のような場合にご活用ください。

例)本CRFの記入は担当医が行うが、Webへの入力は他の診療科スタッフに依頼する場合 など

記入に際してのルール

記入ルールは、以下の通りです。なお、○と□のアイコンについては、Web上も同じルールです。

- : 択一の項目です。該当するものを1つだけお選びください。
- : 複数選択の項目です。該当するもの全てをお選びください。
- 下線: テキスト文章の記入欄です。
- 項目名の網掛けが灰色部分: 必須項目です。

登録基準

【展開条件について】

- ・新規症例登録のステータスが「完了(承認済)」の症例を対象とし、手術日より3か月経過後に3か月目フォローアップを自動表示。
 - ・新規症例登録のステータスが「完了(承認済)」の症例を対象とし、手術日より1年経過後に1年目フォローアップを自動表示。
 - ・ただし、3か月目目フォローアップについては、新規症例登録の【術後30日状態】が「死亡」の場合は自動追加されない。
 - ・1年目フォローアップについては、3か月目目フォローアップで【3か月時点での追跡可否】が「追跡不可能」もしくは【生存の有無】が「死亡」の場合は自動追加されない。
- ※手動での追加は行えません。必ず上記条件を満たしてください。

【ステータスについて】

- ・新規症例登録とは別に「腎盂形成追跡調査」でのステータスとなります。「完了(承認済)」へのステータス変更をお忘れなようご注意ください。

【追跡調査入力期限】

- ・各フォローアップの入力開始日から6ヶ月間登録可能です。
- ※入力開始日から6ヶ月経過後は入力不可となりますのでご注意ください。

お問い合わせ

ご不明な点、ご質問等がありましたら、NCDホームページお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

(URL <http://www.ncd.or.jp/contact>)

お問い合わせの前にFAQもご参照ください。(URL <http://www.ncd.or.jp/faq>)

※メールでの一元管理を行っておりますので、お電話でのお問い合わせは承っておりません。何卒ご了承ください。

また、お問い合わせの内容によっては、回答までにお時間を要する場合があります。

National Clinical Database
Case Report Form: 腎盂形成 追跡調査(フォローアップ)

腎盂形成追跡調査 生存調査3か月目フォローアップ

3か月時点での追跡可否	以後の項目において、3か月後の時点での状況が不明の場合は最終確認時時点でのデータを入れる。 <input type="radio"/> 追跡可能 <input type="radio"/> 追跡不可能(転院含む)		
生存の有無	<input type="radio"/> 生存 <input type="radio"/> 死亡	生存の有無_詳細	【生存の有無】が「死亡」の場合に記入する。 <input type="radio"/> 手術関連死亡 <input type="radio"/> 他病死[]
手術の成否	<input type="radio"/> 成功 <input type="radio"/> 不成功 <input type="radio"/> 判定不能	手術後3か月の時点での手術の成功・不成功を判定する。判定基準に統一したものはなく、各施設の判断による。	
水腎症 grade	<input type="radio"/> grade 1 <input type="radio"/> grade 2 <input type="radio"/> grade 3 <input type="radio"/> grade 4 <input type="radio"/> 間欠的水腎症	水腎症の程度をSFU分類に従って選択する。水腎症の程度が時期によって変動しgradeを判定できない場合には、間欠的水腎症を選択する。	
腎盂前後径	[] mm <input type="radio"/> 不明	水腎症を呈している腎盂の前後径を入力する。	
血清クレアチニン	<input type="radio"/> [] mg/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-20.0, 値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ。	

National Clinical Database
Case Report Form: 腎盂形成 追跡調査(フォローアップ)

腎盂形成追跡調査 生存調査1年目フォローアップ

1年時点での追跡可否	以後の項目において、1年後の時点での状況が不明の場合は最終確認時時点でのデータを入れる。 <input type="radio"/> 追跡可能 <input type="radio"/> 追跡不可能(転院含む)		
生存の有無	<input type="radio"/> 生存 <input type="radio"/> 死亡	生存の有無_詳細	【生存の有無】が「死亡」の場合に記入する。 <input type="radio"/> 手術関連死亡 <input type="radio"/> 他病死[]
身長	[]cm	50.0 - 200.0、値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ	
体重	[]kg	2.0 - 150.0、値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ	
BMI	[]kg	身長と体重から、自動計算	
水腎症 grade	<input type="radio"/> grade 1 <input type="radio"/> grade 2 <input type="radio"/> grade 3 <input type="radio"/> grade 4 <input type="radio"/> 間欠的水腎症	水腎症の程度をSFU分類に従って選択する。水腎症の程度が時期によって変動しgradeを判定できない場合には、間欠的水腎症を選択する。	
腎盂前後径	[]mm <input type="radio"/> 不明	水腎症を呈している腎盂の前後径を入力する。	
血清クレアチニン	<input type="radio"/> []mg/dl <input type="radio"/> 未検査 <input type="radio"/> 不明	0.1-20.0、値を入力した場合は小数点(半角ピリオド)および半角数字のみ。	
腎シンチグラフィによる分腎機能	右 []% 左 []% <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 未施行	術後に施行した腎シンチグラフィにおける左右の分腎機能比を入力する。術後の検査が行われていても値が不明な場合には、「不明」を選択し、検査が施行されていない場合には「未施行」を選択する。	
利尿レノグラフィにおける T1/2	<input type="checkbox"/> 右 <input type="radio"/> 15分未満 <input type="radio"/> 15 - 20分未満 <input type="radio"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> 左 <input type="radio"/> 15分未満 <input type="radio"/> 15 - 20分未満 <input type="radio"/> 20分以上 <input type="checkbox"/> 未施行	術後に施行した利尿レノグラフィ(99mTc-DTPA、あるいは99mTc-MAG3)において、左右それぞれの T1/2 の当てはまるものを選択する。片腎症例では、左右どちらか一方でよい。検査が行われていない場合、「未施行」を選択する。	
利尿レノグラフィにおける ランククス反応性	<input type="checkbox"/> 右 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 左 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 未施行	術後に施行した利尿レノグラフィ(99mTc-DTPA、あるいは99mTc-MAG3)において、左右それぞれのランクス反応性があるかないかを選択する。片腎症例では、左右どちらか一方でよい。検査が行われていない場合、あるいは腎シンチグラフィが行われていても利尿剤が投与されていない場合には、「未施行」を選択する。	
手術の成否	<input type="radio"/> 成功 <input type="radio"/> 不成功 <input type="radio"/> 判定不能	手術後1年時点での手術の成功・不成功を判定する。判定基準に統一したものはなく、各施設の判断による。	
再手術の有無	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="checkbox"/> 開腹手術 <input type="checkbox"/> 腹腔鏡下手術 <input type="checkbox"/> 単孔式手術(単孔+1を含む) <input type="checkbox"/> ロボット支援手術 <input type="checkbox"/> Endopyelotomy <input type="checkbox"/> 腹腔鏡補助下手術 <input type="checkbox"/> その他[]	手術後1年までの間に再手術が施行されていた場合、施行された術式を選択する(複数選択可)。	